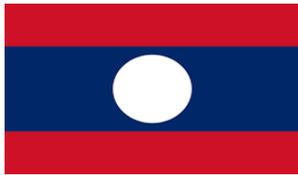


第114回 世界の人とふれあいタイム



ラオス
人民民主共和国の話
チッタウォン・
フォンサワン(ミンさん)氏

日時：2025年1月26日(日) (14:00~16:00)

会場：八王子市学園都市センター第5セミナー室
(フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』)

今回ゲストのミンさんの父は日本の大学に留学し、また高校生の時に日本人の友人からも日本の情報を聞き、2015年に来日しました。日本語コース終了後、国際社会学部で4年間学び修士課程終了後、日本の民間企業に就職し、現在はNPO エファジャパンでプロジェクトコーディネーターとして活躍しています。

さてラオスには49の民族がいて、その中のモン族とはお互いが情報共有しています。農業が主な産業で、コーヒー、米、お茶を輸出していますが、日本の企業はあまり多くありません。

首都はビエンチャンでそこから、高速鉄道を利用し約2時間で、地上最後の楽園と呼ばれているルアンパバーン(信号機がひとつもない)に到着出来ます。ここは他人に対して優しい場所だそうです。

ラオス 概要

- 東南アジアに位置する内陸国
- 都市：ビエンチャン
- 人口：約700万人
- 言語：ラオス語
- ラオスの通貨：キープ (ラオス・キープ)
- 地平の多くは山地から成り、メコン河が国を繋いでいる
- 多民族、豊富な自然



ラオスの魅力はゆったりとした雰囲気、あたかも時間が止まった国と呼ばれています。また、ポーペンヤン(大丈夫だよ・問題ないよ)は、穏やかで争いごとを好まない国民性を象徴しています。



【笑顔の子供たち】

ラオスの観光は、豊かな自然の滝めぐりで、特に乾季が適しています。



【コーンパパンの滝・タート・ファーンの滝・クアンシーの滝】

古い歴史と文化でも有名なルアンプラバン町は、世界遺産にも登録されていてワット・シエントーンは屋根が綺麗で、金でモザイク装飾が施されています。なお、ラオスの首都ビエンチャンの凱旋門もお勧めです。

ラオスの魅力
古い歴史と文化



【ワット・シエントーンと凱旋門】

仏教行事では10月に安居明け祭りが行われていて、灯籠を花で囲んでメコン川に流し、故人の功德と霊を繋ぐためです。

ラオスの魅力
行事 10月安居明け祭り



それ以外に、11月のタートリアン祭りや2月の像祭りも有名です。

食文化は、カオニャオ(もち米)が主食で粘り気があり手で食べます。肉(豚・鳥)や川の魚、パパイヤサラダがあり、ラオス風焼き鳥はお勧めです。また織物(シルクやコットン)も有名です。



【伝統舞踊を踊るミンさん・人気のランボンを踊る参加者】



【ラオスを説明するミンさん・スタッフとの集合写真】

最後にミンさんから、ラオスフェスティバル(2025が5月24日(土)・25日(日)代々木公園で開催)の案内と、エファジャパンの取り組みについて報告がありました。

(世界の人とふれあいタイム 委員長 生山 龍哉)

※次回:2025年6月29日(日)10:30~はカナダです。